



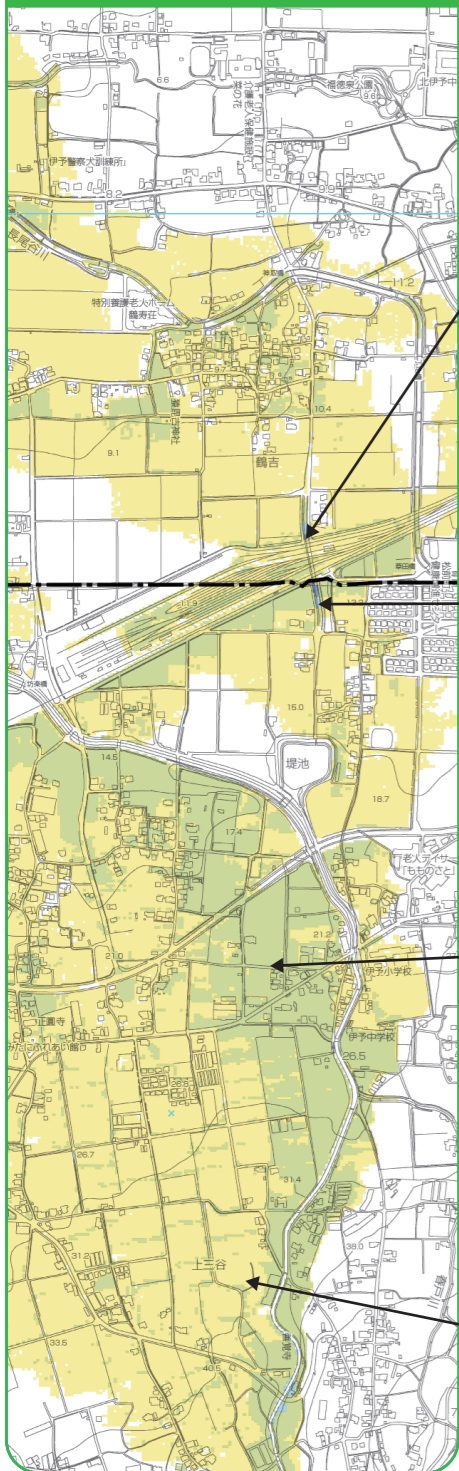
# 1 ハザードマップを見る

マップで浸水の深さを事前に確認しよう

## あなたの居場所の浸水は何m?

裏面のマップは、洪水が起きた時の被害予測地図（ハザードマップ）です。普段過ごしている場所で想定される浸水の深さを確認しよう。

### 浸水の深さの色分け



### 家屋倒壊等はん濫想定区域

重信川には家屋倒壊等はん濫想定区域があります。(冊子版を参照)

5.0m以上

#### 2階屋根以上が浸水

●水流が強い場合には、家屋が流出する危険がある

3.0~5.0m

#### 2階屋根まで浸水

●水流が強い場合には、家屋が流出する危険がある

0.5~3.0m

#### 2階床下まで浸水

●強い水流の中を歩くことは危険

0.5m未満

#### 1階床下まで浸水

●浸水の深さがひざ上になると歩行は危険

必ず  
早急に避難



# 2 正しい避難行動を知る

避難先を事前に決めておこう

## どこにどうやって避難する?

浸水の深さによって避難方法が異なります。事前に最寄りの避難場所と徒歩での所要時間を知り、緊急時の避難方法を決めましょう。

車での避難は控える



(お年寄り・体の不自由な方など)  
車での避難が必要な人は  
早めに避難開始!

避難場所・高台の道路・空地など

### 浸水しない安全な場所へ

500m (平地)  
歩くのにかかる時間 ※目安

- 約 6分 成人男性
- 約 8分 成人女性
- 約 10分 高齢者

時間と安全な避難経路が確保されていれば・・・  
**外が明るいうちに必ず避難**



道路等が浸水し、すでに外が危険な場合

### 今いる建物の2階以上または近くの安全な高い建物へ



### その場に留まり安全確保

道路等が浸水し、すでに外が危険な場合

